

聖籠町・聖籠町国民健康保険 保健事業実施計画（データヘルス計画）

保健事業の令和2年度評価

1. 計画期間

平成29年度（2017年度）～令和5年度（2023年度）

2. 計画の概要

厚生労働省は、国民健康保険法（昭和33年法律第192号）第82条第4項の規定に基づき、厚生労働大臣が定める国民健康保険法に基づく保健事業の実施に関する指針（平成16年厚生労働省告示第307号。以下「保健事業実施指針」という。）の一部を改正し、保険者は健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための計画（データヘルス計画）を策定した上で保健事業の実施及び評価を行うものとしています。

当町においても、健康せいろう21を策定した中で「健康寿命の延伸」を大きな目標として掲げており、保健事業実施指針に基づきデータヘルス計画を定め、75歳未満の脳血管疾患発症の減少と糖尿病性腎症による新規透析患者の増加抑制等の保健事業の実施及び評価を行うものとします。

3. 令和2年度 各個別保健事業状況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が始まった年度であり、各健診事業の実施時期や方法の大幅な変更に加え、町民の受診控え行動もあり、特定健診受診率の低下、医療機関受診の減少が見られました。

コロナ禍で長期外出自粛等が長期に続くことは、生活リズム食生活の乱れ等による生活習慣病の悪化などを助長する可能性が高いことから、今後は、with コロナの意識も持ち、生活習慣病発症予防・重症化予防の事業展開を図っていく必要性があります。

聖籠町・聖籠町国民健康保険 保健事業実施計画(データヘルス計画) 保健事業 令和2年度評価

A:目標を達成 B:維持 C:目標を未達成 D:目標の達成は困難で、効果があるとはいえない

事業番号	保健事業(名)	目的・事業内容	評価項目		年次推移/経年変化 実績値・達成状況				R2年度 指標評価	R2年度 事業評価	R2年度 要因分析 成功要因・未達要因	今後の方針 見直しと改善の案
			評価指標	目標値	H29年度 (ベースライン値)	H30年度	R1年度	R2年度	評価 (A~Dの4段階)	評価 (A~Dの4段階)		
1	健診受診勧奨事業	【目的】 特定健診の受診率向上と重症化予防 【事業内容】 ①秋の総合健診前に個別通知 ②個別訪問	アウトプット指標	春の総合健診受診予定者で特定健診未受診者のうち、受診勧奨通知書を送付した割合	対象者への実施率の増加	30.5%(204人/668人)	27.5%(240人/874人)	36.2%(160人/442人)	春の総合健診を延期したため、事業未実施		新型コロナウイルスの影響により、総合健診の日程が変更となった。そのため、対象者の抽出ができなかった。	健診受診は不要不急ではなく、健康維持増進のために必要だ、ということを啓発して、健診受診を促す。
			アウトカム指標	受診勧奨通知送付者のうち、特定健診を受診した割合	実施者の受診率の増加	8.8%(18人/204人)	4.2%(10人/240人)	13.1%(21人/160人)	春の総合健診を延期したため、事業未実施			
2	特定健康診査	【目的】 生活習慣病の早期発見と重症化予防 【事業内容】 ①春・秋の総合健診 ②人間ドック	アウトプット指標	特定健康診査受診率	受診率の前年度比増加	49.9%(956人/1915人)	53.0%(985人/1859人)	53.0%(966人/1823人)	48.2%(877人/1820人) *速報値	C	新型コロナウイルスの影響で受診控えが目立った。健診会場では、受診者同士の間隔を一定間隔をとる等、会場設営・案内を工夫し、スムーズに実施できた。	B
			アウトカム指標	特定健康診査受診率	受診率の前年度比増加	49.9%(956人/1915人)	53.0%(985人/1859人)	53.0%(966人/1823人)	48.2%(877人/1820人) *速報値	C		
3	特定保健指導	【目的】 生活習慣病予防と重症化予防 【事業内容】 町保健師による個別保健指導	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導を行った割合	対象者への実施率の増加	39.1%(54人/138人)	38.1%(48人/126人)	40.3%(50人/124人)	39.1%(50人/128人) *速報値	B	特定保健指導対象者と併せて受診勧奨対象者もリスト化して、健診事後訪問に望むことで受診勧奨と同時並行で行うことができた。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	特定保健指導実施者の翌年度健診結果(実施者の改善/維持した割合) ①HbA1c ②成人の血圧値分類 ③BMI	実施者の翌年度の健診結果の改善	①HbA1c 77.5% ②成人の血圧値分類 52.5% ③BMI 65.0%	①HbA1c 46.5% ②成人の血圧値分類 48.8% ③BMI 32.6%	①HbA1c 61.1% ②成人の血圧値分類 69.4% ③BMI 47.2%	①HbA1c 70.6% ②成人の血圧値分類 64.7% ③BMI 58.8%	B		
4 の 1	特定健診事後指導 (未治療高血圧者)	【目的】 未治療高血圧者の減少 【事業内容】 総合健診の会場や結果説明会等での、町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導で受診勧奨を行った割合	対象者への実施率の増加	41.2%(56人/136人)	23.9%(34人/142人)	40.5%(45人/122人)	42.9%(60人/140人)	A	健診で一時的に血圧が上昇している場合が多く、受診勧奨よりも自宅での自己測定を勧めたりと受診勧奨の有無を生活状況から判断している。	B
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度のレセプトで傷病名に「高血圧」があった被保険者の割合	実施者で医療機関を受診した割合の増加	25.0% (13人/52人 *4人評価不能)	29.4%(10人/34人)	38.5% (10人/26人 *19人評価不能)	8.9% (5人/56人 *4人評価不能)	C		
4 の 2	特定健診事後指導 (高血圧受療者でコントロール不良者)	【目的】 [高血圧]で医療機関を受診しているが、コントロールが不十分な被保険者の減少 【事業内容】 総合健診の会場や結果説明会等での、町保健師による個別保健指導	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導を行った割合	対象者への実施率の増加	33.7%(35人/104人)	33.0%(31人/94人)	45.9%(39人/85人)	32.8%(42人/128人)	B	地区担当保健師ごとに対象者をリスト化し、受診勧奨を強化した。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度の健診結果で成人の血圧値の分類の段階が下がった者の割合	実施者の翌年度健診結果の改善	48.6%(17人/35人)	60.0% (12人/20人 *11人評価不能)	22.2% (6人/27人 *12人評価不能)	91.7% (33人/36人 *6人評価不能)	A		
4 の 3	特定健診事後指導 (糖代謝異常者)	【目的】 糖尿病放置者の減少 【事業内容】 結果説明会や個別訪問等での、町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導で受診勧奨を行った割合	対象者への実施率の増加	31.9%(15人/47人)	38.3%(18人/47人)	58.7%(27人/46人)	50.0%(6人/12人)	A	地区担当保健師ごとに対象者をリスト化し、受診勧奨を強化した。	R3年度からは、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施業務として、後期高齢者年代に対しても継続した指導・評価を行っていく。
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度のレセプトで傷病名に「糖尿病」があった被保険者の割合	実施者で医療機関を受診した割合の増加	64.3% (9人/14人 *1人評価不能)	70.6% (12人/17人 *1人評価不能)	63.0% (17人/25人 *2人評価不能)	16.7%(1人/6人)	C		
4 の 4	特定健診事後指導 (血糖コントロール不良者)	【目的】 [糖尿病]で医療機関を受診しているが、コントロールが不十分な被保険者の減少 【事業内容】 結果説明会や個別訪問等での、町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導を行った割合	対象者への実施率の増加	34.1%(15人/44人)	65.9%(27人/41人)	67.5%(27人/40人)	100.0%(4人/4人)	A	コントロール不良者は糖代謝異常者訪問として事業化しており、受診・生活状況の確認を対象者全員に実施した。	R3年度からは、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施業務として、後期高齢者年代に対しても継続した指導・評価を行っていく。
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度の健診結果でHbA1cの値が下がった者の割合	実施者の翌年度健診結果の改善	57.1% (8人/14人 *1人評価不能)	30.0% (6人/20人 *7人評価不能)	38.9% (7人/18人 *9人評価不能)	100.0% (3人/3人 *1人評価不能)	A		
4 の 5	特定健診事後指導 (未治療尿検査異常者)	【目的】 尿検査要受診者の減少 【事業内容】 総合健診の会場や結果説明会等での、町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導で受診勧奨を行った割合	対象者への実施率の増加	52.0%(13人/25人)	33.3%(7人/21人)	70.0%(14人/20人)	57.1%(4人/7人)	A	器質的な異常は無くても、長年機能的な尿検査異常が明らかかな方は経過観察や次回受診時に相談しており受診勧奨もケースバイケースが多い。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度のレセプトで傷病名に「高血圧」「糖尿病」があった被保険者の割合	実施者で医療機関を受診した割合の増加	75.0% (9人/12人 *1人評価不能)	85.7%(6人/7人)	71.4%(10人/14人)	0.0%(0人/4人)	C		
4 の 6	特定健診事後指導 (CKD判定 要保健指導・要受診者)	【目的】 CKD判定要受診者の医療機関受診 【事業内容】 町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標	対象者のうち、個別保健指導で受診勧奨を行った割合	対象者への実施率の増加	22.1%(29人/131人)	43.0%(58人/135人)	39.0%(60人/154人)	100.0%(7人/7人)	A	アウトカム指標に「腎疾患」の傷病名を加えることが必要。対象者への保健指導は適切に行なった。	適切な評価が行えるよう、アウトカム指標の見直しを行う。
			アウトカム指標	実施者のうち、翌年度のレセプトで傷病名に「高血圧」「糖尿病」があった被保険者の割合	実施者で医療機関を受診した割合の増加	75.6%(34人/45人) *「要受診者」/「要保健指導・要受診者」	69.6%(16人/23人) *「要受診者」/「要保健指導・要受診者」	41.7%(56人/97人) *「要受診者」/「要保健指導・要受診者」	28.6%(2人/7人)	C		
4 の 7	特定健診事後指導 (特定健診項目以外の要保健指導・要受診者の重症化予防)	【目的】 特定健診項目以外(心電図・貧血・眼底検査)の要保健指導・要受診者の重症化予防 【事業内容】 町保健師による個別保健指導時の受診勧奨	アウトプット指標								令和2年度中間見直しにより、データヘルス計画の保健事業から削除。	
			アウトカム指標									
5	医療機関からの紹介患者栄養指導	【目的】 生活習慣病の重症化予防 【事業内容】 町管理栄養士による個別栄養指導	アウトプット指標	対象者へ個別栄養指導を実施した割合	対象者への実施率100%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	対象者全員に個別栄養指導を実施している。継続して医療機関から紹介があり、連携して対象者への栄養指導・状態把握ができています。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	医療機関からの紹介の有無	医療機関からの紹介の有無	有(紹介者数 9人)	有(紹介者数 47人)	有(紹介者数 77人)	有(紹介者数 72人)	A		
6	人工透析患者状況把握調査訪問	【目的】 聖籠町の傾向・課題を探り、今後の保健事業への反映 【事業内容】 町保健師による聞き取りと患者・家族に対する支援	アウトプット指標								令和2年度中間見直しにより、データヘルス計画の保健事業から削除。	
			アウトカム指標									
7	糖尿病性腎症重症化予防対策事業	【目的】 対象者を医療と地域で継続して支援できる体制づくり 【事業内容】 町保健師・管理栄養士による医療機関訪問と町の現状・事業紹介や事業への協力依頼	アウトプット指標	連携医療機関の延べ数	連携医療機関の増加と強化	3医療機関	5医療機関	6医療機関	7医療機関	A	町民が多く受診する町内外の内科を訪問し、顔の見える関係づくりを構築することができている。	R2年度同様に実施
			アウトカム指標	連携医療機関の延べ数	連携医療機関の増加と強化	3医療機関	5医療機関	6医療機関	7医療機関	A		
8	妊婦保健指導	【目的】 町民が健やかな妊娠期を過ごし、乳児期からの生活習慣病予防の視点を養う 【事業内容】 妊娠届出時の健康相談・保健指導	アウトプット指標	対象者へ健康相談・保健指導を行った割合	対象者への実施率100%	未把握	100.0%	100.0%	100.0%	A	対象者全員に健康相談・保健指導を実施している。喫煙率・飲酒率は微増した。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	健康相談・保健指導後の喫煙・飲酒状況の聞き取り	妊婦の喫煙率・飲酒率の減少	未把握	1.5%	0.8%	3.5%	C		
9	発育教室	【目的】 幼児期の健康管理が生活習慣病の予防につながることを町民に理解し、家族ぐるみで考えていく 【事業内容】 身体測定の実施(2か月に1回) 結果に基づき管理栄養士のコメントと、保護者への保健指導	アウトプット指標	対象者へ身体測定、保健指導を行った割合	対象者への実施率100%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	A	対象者全員に身体測定、保健指導を行った。R1年度と比較して、肥満の割合は増加したが、やせの割合は減少した。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	肥満：標準体重から+15%以上の園児の割合 やせ：標準体重から-15%以下の園児の割合	肥満、やせの割合の減少	肥満 3.6% やせ 1.1%	肥満 2.6% やせ 1.3%	肥満 3.3% やせ 1.7%	肥満 5.3% やせ 1.5%	B		

聖籠町・聖籠町国民健康保険 保健事業実施計画(データヘルス計画) 保健事業 令和2年度評価

A:目標を達成 B:維持 C:目標を未達成 D:目標の達成は困難で、効果があるとはいえない

事業番号	保健事業(名)	目的・事業内容	評価項目		年次推移/経年変化 実績値・達成状況				R2年度指標評価 評価(A~Dの4段階)	R2年度事業評価 評価(A~Dの4段階)	R2年度 要因分析 成功要因・未達要因	今後の方針 見直しと改善の案	
			評価指標	目標値	H29年度 (ベースライン値)	H30年度	R1年度	R2年度					
10	乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導	【目的】 幼児期の健康管理が生活習慣病の予防につながることを町民課理解し、家族ぐるみで考えていく 【事業内容】 健康づくりに関する情報提供と健康相談・保健指導	アウトプット指標	情報提供・健康相談・保健指導を行った割合 (2か月訪問・乳児健診・1歳半健診・3歳児健診での実施率)	対象者への実施率の維持	2か月訪問 100.0% 乳児健診 100.0% 1歳半健診 99.3% 3歳児健診 99.3%	2か月訪問 100.0% 乳児健診 98.9% 1歳半健診 100.0% 3歳児健診 100.0%	2か月訪問 100.0% 乳児健診 100.0% 1歳半健診 92.2% 3歳児健診 100.0%	2か月訪問 99.2% 乳児健診 99.5% 1歳半健診 98.4% 3歳児健診 98.8%	A	B	対象者ほぼ全員に実施した。アウトカム評価はおおむね横ばい。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	①毎日飲酒割合 ②2合以上飲酒割合 ③喫煙率 ④1日30分以上の運動習慣なしと回答した割合 ⑤週3回以上朝食を抜くと回答した割合 ⑥生活習慣病改善意欲なしと回答した割合 ⑦BMI25以上の割合	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	①毎日飲酒 33.0% ②2合以上飲酒 20.7% ③喫煙 19.9% ④1日30分以上の運動習慣なし 70.1% ⑤週3回以上朝食を抜く 6.6% ⑥生活習慣病改善意欲なし 47.0% ⑦BMI25以上 27.8%	①毎日飲酒 32.0% ②2合以上飲酒 15.6% ③喫煙 19.0% ④1日30分以上の運動習慣なし 67.9% ⑤週3回以上朝食を抜く 8.1% ⑥生活習慣病改善意欲なし 46.5% ⑦BMI25以上 27.8%	①毎日飲酒 33.0% ②2合以上飲酒 19.0% ③喫煙 17.8% ④1日30分以上の運動習慣なし 69.3% ⑤週3回以上朝食を抜く 7.8% ⑥生活習慣病改善意欲なし 45.6% ⑦BMI25以上 27.9%	①毎日飲酒 31.6% ②2合以上飲酒 18.4% ③喫煙 18.2% ④1日30分以上の運動習慣なし 71.3% ⑤週3回以上朝食を抜く 7.7% ⑥生活習慣病改善意欲なし 42.6% ⑦BMI25以上 29.7%				
11	健診結果活用塾	【目的】 町民が、町の健康課題、働き盛り年代の健康課題を知り、生活習慣病予防に関する知識を高める 【事業内容】 3小学校区を2グループに分けて2年で一回りするものとし、1グループ内の行政区単位で開催。保健推進員と食生活改善推進員が共同で講話を行う。	アウトプット指標	年間参加者数	年間参加者数の増加	180人	199人	223人	5月総合検診が12月に延期となったため中止			新型コロナウイルスの影響により中止	新型コロナウイルスの状況を見て実施を判断
			アウトカム指標	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ			
12	地区別健康教室	【目的】 町民が、町の健康課題を知り、生活習慣病予防に関する知識を高める 【事業内容】 個別血圧相談と生活習慣病予防に関する知識の提供等の健康相談・健康教育	アウトプット指標	各地区からの要望に応じて、健康相談・健康教育を実施した割合	各地区からの要望に応じた健康相談・健康教育の実施率 100%	100.0%(実施回数 23回)	100.0%(実施回数 14回)	100.0%(実施回数 16回)	100.0%(実施回数 9回)	A	B	各地区の求めに応じて100%実施できている。アウトカム評価はおおむね横ばい。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ				
13	生活習慣病予防教室	【目的】 糖尿病・高血圧の重症化とCKD・脳卒中などの合併症の予防 【事業内容】 糖尿病予防教室と教室終了後のフォローアップを行う	アウトプット指標	教室への参加者の実人数	年間参加者数の維持	19人	19人	15人	12人	C	C	新型コロナウイルスの影響により、3回予定していた教室を2回で終了した。	今後の集団指導の方向性を検討予定
			アウトカム指標	教室の参加者のうち、翌年度の血圧・HbA1c・BMI等が改善した割合	参加者の翌年度健診結果改善率	52.9%	73.7%	63.6%	33.3%				
14	介護予防運動教室	【目的】 下肢筋力・体幹機能の維持・向上 【事業内容】 通所型・出向型で運動指導・栄養指導を行う	アウトプット指標	教室への参加者の延人数	年間参加者数の維持	通所:461人 出向:1893人	通所:402人 出向:1969人	通所:333人 出向:2151人 フォロー:1364人	通所:147人 出向:1066人	B	B	新型コロナウイルスにより事業規模が縮小した。感染対策を十分に行った上で、可能な限り実施できた。	R3年度からは、高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施業務として、利用者に対する健康教育・健康相談を併せて実施する。
			アウトカム指標	1日30分以上の運動習慣なしと回答した割合	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	70.1%	67.9%	69.3%	71.3%				
15	マタニティーママのフレッシュ教室	【目的】 健やかな妊娠期を過ごし、乳児から生活習慣病予防の視点をもたせる 【事業内容】 栄養講座、調理実習の実施と健康に関する知識の提供	アウトプット指標	聖籠町に妊娠届出を行った妊婦のうち、教室に参加した者の割合	年間参加者率の増加(教室参加数/妊娠届出数)	5.7%(8人/141人)	20.5%(26人/127人)	21.6%(24人/111人)	17.7%(28人/158人)	B	B	R2年度は妊娠届出数が例年よりも増加し、参加実人数も増加した。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ				
16	中学生性教育・喫煙予防事業	【目的】 未成年のうちから健康づくりに対する関心を高め、喫煙防止を促す 【事業内容】 年1回の性教育講演会の際に、喫煙に関する情報(健康や身体発達、学力への影響)を提供し、喫煙は絶対にしないよう強く指導する	アウトプット指標	教室への参加者の延人数	実施(参加者数)	実施(150人)	実施(118人)	実施(147人)	性教育の講話のみ			新型コロナウイルスの影響で事業が縮小され、喫煙防止の指導を行うことができなかった。	新型コロナウイルスの状況を見て実施を判断
			アウトカム指標	喫煙率	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	19.9%	19.0%	17.8%	18.2%				
17	食育事業	【目的】 町民が、乳幼児の健康管理が生活習慣病予防につながることを理解し、家族ぐるみで考えていく 【事業内容】 こども園で食育劇を実施し、バランス食の大事さを伝える	アウトプット指標	食育劇の実施の可否	実施	実施	実施	実施	実施	A	B	食育劇を実施した。R1年度と比較して、肥満の割合は増加したが、やせの割合は減少した。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	肥満:標準体重から+15%以上の園児の割合 やせ:標準体重から-15%以下の園児の割合	園児の肥満、やせの割合の減少	9 発育教室のアウトカムと同じ	9 発育教室のアウトカムと同じ	9 発育教室のアウトカムと同じ	9 発育教室のアウトカムと同じ				
18	地区組織(食生活改善推進員)による減塩教室	【目的】 町民が、乳幼児の健康管理が生活習慣病予防につながることを理解し、家族ぐるみで考えていく 【事業内容】 食生活改善推進員による減塩教室を開催し、家庭に広めてもらう	アウトプット指標	こども園での実施の可否	実施	実施							H30から、こども園の事業縮小のため実施が困難となった。H29で終了。
			アウトカム指標	子どもの頃から食塩の取りすぎに注意する必要がある、と回答した割合	教室実施後のアンケートの改善	80.6%							
19	広報せいらう	【目的】 健康・医療にかんする知識や保健事業の情報の提供 【事業内容】 広報せいらうとお知らせ号に記事を掲載する	アウトプット指標	継続した広報せいらうへの記事の掲載	広報せいらうとお知らせ号への記事の掲載回数	実施(19回/22回)	実施(19回/22回)	実施(19回/22回)	実施(19回/22回)	A	B	継続して記事を掲載できている。アウトカム評価はおおむね横ばい。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	特定健診受診者の質問票及び健診結果の改善(減少)	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ	10 乳幼児家庭訪問・乳幼児健診保健指導のアウトカムと同じ				
20	美味しく減塩月間情報	【目的】 町民課が町の健康課題を知り、生活習慣病予防の重要性を身近に感じ、家族ぐるみで取り組んでいる 【事業内容】 スーパー、町内観光施設等に減塩特設コーナーを設置するとともに、学校給食や飲食店と連携し、減塩を勧める	アウトプット指標	設置個所	減塩特設コーナーの設置	地場物産館	地場物産館	地場物産館 町立図書館	地場物産館 町立図書館	A	A	設置個所、連携先が増えている。飲食店と協力して、減塩メニューの作成・販売ができた。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	事業の実施	減塩メニューの販売を継続実施	ざぶ〜ん館	ざぶ〜ん館	ざぶ〜ん館	ざぶ〜ん館				
21	職域連携事業	【目的】 働き盛り年代に対し、町の健康課題を共有し、問題提起を行う 【事業内容】 商工会総会・理事会や東港立地企業協議会総会等で健康講話や生活習慣病予防の情報提供を実施する	アウトプット指標	①健康講話等の実施回数 ②情報提供の有無	①健康講話等の実施 ②生活習慣病予防の情報提供	2回	3回	1回	2回(書面)	A	A	新型コロナウイルスの影響で、書面による情報提供となった。	R2年度同様に継続
			アウトカム指標	①健康講話等の実施回数 ②情報提供の有無	①健康講話等の実施 ②生活習慣病予防の情報提供	有	有	有	有				